

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～



6月議会に社会科見学として訪れた幕別高校3年松本さん、小林さん、西田さん、中嶋さんと教科担当の堀内先生（写真右から）にお話を聞きました。たくさんの意見・感想を聞かせていただき中から、抜粋して一部を紹介します。

●一般質問を傍聴しての感想は？

- 町長さんと議員さんのやりとりは、もっと坦々としたものだと思っていました。でも、実際には白熱した論戦を繰り広げられていて驚きました。
- 私もそういう先入観がありましたが、全然真逆で腹を割って話しているなと感じました。
- 空き家対策の質問のときに、議員さんが「空き家をこのままにしていたら家の妖精が泣いている」と言っていて、議場で笑いが起きていた。
- 議会は静まり返っている真面目なイメージがあったので、笑いが起きたのにはびっくりしました。
- それでも、真剣にこの町のことを考えてくれているという熱意が伝わりました。
- 実際に議会を傍聴したら、真剣に町のことを考えてくれていると感じました。
- 議会傍聴の後に選挙がありました。政治が少し身近になった気がしました。選挙期間になったら新聞で候補者のことを細かくチェックしました。
- 先生たちが授業で情熱を持って、私たちに選挙の大切さを教えてくれたことも、私にとっては大きかったです。

●町に望むことは？

- 幕別高校の登下校の歩道が2人で並んで歩けないくらい狭くて困っています。除草もされていない時期があって、そのときはさらに狭くなってしまいます。
- 街にお店が少なく寂しいと感じます。
- 私は冬期間の除排雪の優先順位に疑問があります。細い道は後回しになるので、大雪の日は家から出られないことがあります。なんとかしてほしいです。

（聞き手 板垣良輔 荒 貴賀）

編集後記

今夏の大雨による災害で被害に遭われた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。あらためて、私たちは自然の中で生かされていることを感じます。

議会でも今後の対応策について継続的に審議しております。一刻も早くすべての皆さまが元通りの生活になり、より一層豊かで笑顔あふれる幕別町になるよう鋭意努力していきます。

小田新紀 内山美穂子

議会広報広聴委員会

委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子

若山和幸 小島智恵 東口隆弘

○お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札内北町 毛利 正一

まず、新議場に入って最初に感じたことは、椅子等は素晴らしくなったが、何かしら依然と違うなという感覚になった。席が平らで前が見づらくなっており、少し勾配があったらと感じた。



発言者の質問に対し、時折、理事者側の答弁が物足りない面が感じられた。調べていない、聞いていない、これでは議論がかみ合わない。理事者側はあらゆる質問を想定し答弁すべきである。そうでなければ、中身の濃い議論を期待する傍聴者もがっかりして帰ることになる。理事者側の皆さんに一層の研鑽を願いたいと思う。